

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーは世界をつなぐ

ROTARY CONNECTS THE WORLD



ロータリーの輪を今

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 2019～2020

富津中央RC会長 平川 恵敏

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2614 第33回例会 2020.6.18 曇

点 鐘：平川恵敏 会長
進 行：岡田良弘 SAA
ソング：奉仕の理想
お客様：小川義則 ガバナー補佐
：鈴木貴志 第5グループ幹事

本日は三枝会員の卓話がございます。

さて、3カ月間休んで再開した例会も残すところあと2回です。秋には台風、今年になって新型コロナ肺炎騒ぎです。次期の渡辺年度に期待いたします。

例会終了後理事会を開催いたします。理事の方はお残り下さい。

会長挨拶

平川恵敏 会長



皆様今日は。本日のお客様を紹介させていただきます。

ガバナー補佐の小川様、グループ幹事の鈴木様です。ようこそいらっしゃいました。後ほどご挨拶をお願いいたします。

さて、梅雨とはいえ雨があまり降りません。お水、大丈夫でしょうか。今日明日は雨が降るようです。

一方、連日コロナ騒ぎで大変です。緊急事態宣言が解除され少し感染者が増えています。第2波、第3波が訪れるかもと心配なところです。皆様お体には十分気を付けて下さい。

幹事報告

高橋裕之 幹事



1. ハイライト米山243号受領回覧。
2. 市原 RC の例会日が、毎週水曜日から、第一、第3の水曜日に変更になりました。
3. 最終例会の確認。→夜間例会に変更。
点鐘18:00 会費無料 場所いち川旅館
4. 木更津 RC 会報受領回覧。
5. 令和2年度『ダメ。ゼッタイ。』普及運動、募金のお願い受領回覧。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館 Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>
Mail home@futtsuchuo-rotary.org



ガバナー補佐退任挨拶

小川義則 第5グループガバナー補佐



皆さんお久しぶりです。お陰様でこの一年ガバナー補佐としてお役目を無事果たすことが出来、有難う御座いました。諸岡ガバナーより皆様には次年度への支援と奉仕活動への資金活用をお願いするようにとのことでした。今後ともよろしく願いいたします。(聴文)

同 鈴木貴志 第5グループ 幹事



皆様のご協力により無事幹事の大役を果たすことが出来ました。ありがとうございました。

誕生祝

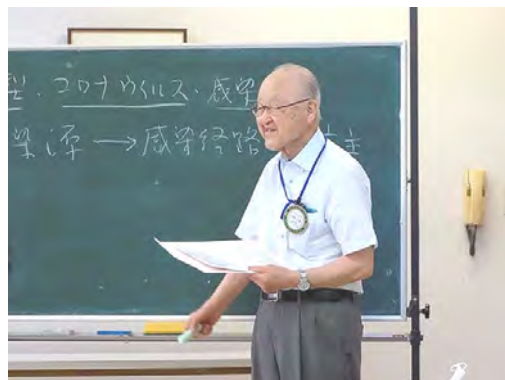
玉井百合子 会員



お祝い頂き有難う御座いました。只今はバースデーソングを皆さんで歌って頂き、感動いたしております。

緊急卓話 後編

三枝一雄 会員



『新型コロナウイルス感染症パートⅡ』

(その後の情報)

はじめに〈前回の復習〉

皆さんこんにちは。前回(3月12日)の卓話で「新型」「コロナウイルス」「感染症」と三つに分けてお話をいたしました。今回はそのパートⅡになりますが、その前に、一応前回の復習を致します。先ず「新型」。何でも新しい病気が発生すると、医者はお手上げとなります。極端な表現をすれば初めて診ればみんなやぶ医者、たくさん診ればみんな名医になる。(笑)これは、医学が経験科学であるからやもうえません。国会で野党が科学的根拠を示せと首相や専門委員に迫っても無理です。経験を積み、時間が経つと段々分かってくるものです。

次に「コロナウイルス」とは電子顕微鏡で見ると、丸い王冠の様な形をしているのでそう名付けられました。2002年に中国から発生したSARS(重症急性呼吸器症候群)と同型のもので、今日は後で再度説明します。最後に「感染症」について、次の三つの原則、下の図式が基本ですから忘れないで下さい。

①感染源⇒ ②感染経路⇒ ③宿主
(撲滅) 遮断 (予防)

以上で、復習を終わり、ここから今日の話となります。

1 感染症の基本

1) 病原体: 病気を起こされた側からの名前です。ウイルス・ケッチア・細菌・寄生虫等。相手側は自分を病原体と少しも思わず、ひたすら生きる。子孫(自分の遺伝子の本体はDNA)を持ち、1個で独立して生きていきます。ところがウイルスだけは別物。遺伝子(DNA か RNA)だけを持っていて、生きるエネルギーと子孫を作る工場は他の生物から借りてくるので、生物と無生物の間と言われます。自分の子孫を残そうとする目的だけは生物と同じです。今度の新型ウイルスは、激しい病変を起こして宿主をやたら殺さない。宿主が知らずに増えることもあり、大変やっかいというがかしこいウイルスということがわかってきました。

2) 伝染と感染: この二つの言葉はよく混同されます。伝染とは病気が宿主から別の宿主にうつることで、感染とは病原体が宿主に入ることを意味しています。例えばトラコーマなどは「学校伝染病」と言われました。文部省は「伝染病」、厚生省は「感染症」で統一されたようです。感染症の流行をエピソード、世界的規模＝パンデミックと言うのはみなさん御存知の通りです。

2、新型コロナウイルスとは:

実はコロナウイルスというものは過去に7種発見されて居ります。1965年風邪のウイルスが見つかりさらに4種でできましたが、症状が軽いためあまり話題になりませんでした。その後 2002 年に重症急性呼吸症候群(SARS = Serious Acute Respiration Syndrom) 更に 2012 年に中東呼吸器症候群(MERS = Midle East Respiration Syndrom) ができました。今度は 2019 年発生した7番目です。学術的には SARS-COV-2 と呼ばれ、病名は COVID-19 とされています。病原性(強さ)は MERS、SARS の次ぐらい。武漢でこれを発見した医師(文文)が情報発信したのに、政治的配慮から対策が遅れました。WHO が 1 月 30 日に情報を発し、3 月 11 日にパンデミックと認定されました。以後世界に広がり、今も開発途上国では危険状態にあることは皆さんご承知の通りです。

3、新型コロナ感染を抑え込むには

SARS や MERAS これほど広がらずに防げたのになぜ今度はこれほどまでに広がったのでしょうか。それは巨人の坂本や大城選手のように一般に患者が確実に症状を出さないからです。明確な症状を出すのは訳20%と言われ、集中的に隔離(感染経路の遮断)出来ないからです。これからは抗体検査や、簡易検査の普及により患者を洗い出すことになるでしょう。だからそれまでは自分を守る。飛沫感染・接触感染を避ける。手洗い・手指消毒「三密」(密集・密接・密閉)、ソーシャルディスタンスを取る。食事は大皿を避ける。対面でなく横並び。会話は控える。などなど～新しい社会生活が提唱に従い、ワクチンや特効薬が見つかるまで、自分が抵抗力をつけるしかありません。ここは前回述べた通りです。

4、なぜ重症化するのか

かつてのペストや天然痘、あるいはスペイン風邪ほどに、恐るべき死亡率ではありません。それでも軽い風邪程度と安心して自宅待機をしているとき呼吸困難が起きて死亡することがあります。志村けんさんの死亡、梨田監督の重体復帰など、こういう事が起こって、しかも確実な治療薬がないから不安であり、事実恐ろしいのです。最近の研究では重症化のメカニズムは“免疫暴走”と言われます。命にかかわる重症肺炎は、自分を守る筈の免疫が過剰に働く。呼吸器だけでなく全身に働く。ウイルスが細胞内に侵入する際に足掛かりとなる「受容体」(タンパク質)が全身臓器にあり、ウイルス表面のスパイク状の突起と鍵と鍵穴のようにぴたりと合うとウイルスは侵入して増殖し、炎症が起こり病気となる仕組みだといわれます。その受容体が血管内皮細胞にもあり、炎症が起こると血栓出来る。脳梗塞や心筋梗塞なども起こります。(これだけでは分かりにくいので、ここで「免疫の話」挿入しましたが、長くなるので省略します)ですから油断は禁物、長期の外出自粛により食事・運動・睡眠などの生活習慣の変化が生活バランスを崩すので高齢者や糖尿病の人は十分に注意が必要です。

5、今後の期待のワクチンだが、いつできるか

ワクチンとは病原体から作られた無毒化あるいは弱毒化された抗原を投与することで、体内に対する抗体生産を高めて感染に対する免疫を獲得するものです。免疫細胞は一度戦った相手を忘れません。抗原が体内に入ると戦った B 細胞から免疫記録細胞が誕生し、戦い終わってもリンパ節にかくれ潜んで次の出番に供えます。(はしかには二度かからない。インフルエンザは衣替えをするので、見つけにくい。だから何度も罹る)この仕組みを利用したのがワクチンです。弱体化した病原細胞を体内に入れる(接種)B 細胞が捕まえて記憶する。免疫細胞は一般に栄養が大切、だからバランスの取れた食事が必要です。さて、その期待のワクチンはいつ出来るのでしょうか。あと1年後? 山中伸弥教授の話だと、オリンピックに間に合わせるのは、かなり幸運が重ならないと難しいそうです。日本をはじめ各国で研究開発中です。これが実用化されるには臨床実験を通じて有効性と安全性を確認する必要があります。健康な人に使うのですから、少しでも重大な副作用が出たら大変、慎重にならざるを得ません。免疫学者は『2年以上かかる』といいます。海外で出来てもすぐ日本に来るとは限りません。自国優先ですから、まず日本で出来ることを期待しています。

むすび:これからの健康上の注意:新しい生活様式

長くなりましたが、このあたりで、これからの季節に健康上の注意を申し上げて締めくくりたいと思います。

- 1) 身体距離の確保・マスク着用・手洗い---今後は熱中症に備えてマスクは飛沫拡散予防に有効なので、基本的には必要だが、強い運動・仕事で心拍・呼吸・体温が上昇して危険です。水分補給をして屋外で人と充分距離をとれば(約2m)外した方が良い。
- 2) 冷房時でも換気扇や窓解放により清浄空気を確保する。換気により室内温度の上昇に注意し、いつもより低めにエアコン調整冷房設定。
- 3) 日ごろの体温測定、健康チェックを。自分の平熱を知っておき、早く異常に気付くように。夏に向かっ

て改めて健康管理に気を付けましょう。梅雨時、梅雨開けが最も熱中症が多いといわれます。体が厚さに慣れていない時期に、特に高齢者・有病者は注意をしましょう。これは帝京大内科の中村文隆教授に教えられました。ご清聴を感謝致します。

(令和2年6月18日脱稿)

ニコニコ BOX

栗原典子親睦担当部長

小川義則ガバナー補佐

この一年ご協力有難う御座いました。

平川会長 小川ガバナー補佐・鈴木幹事をお迎えし

渡辺哲夫・岡田良弘・栗原典子・石渡 鋼 同

高橋幹事・白石幸久・榎本守男 同

玉井百合子* お休みしてしまいました。誕生祝有難う御座います

小野恒靖 三枝先生卓話有難う御座いました

出席報告

神子勝美 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	38/35	27	8		77.14%
前回	38/36	26	10		72.22%
前々回	38/36	22	10	4(4)	72.22%

理事会報告

高橋裕之 幹事

1. 新型コロナウイルス禍等に伴う、一時的な事業などへの負担が重くなった会員が発生した場合のクラブとしての対応について、現在採用している、休会の取扱や、高齢会員の年会費等の取扱に準じた形で、申し出があった場合にはその都度、理事会にて検討することとし、次年度理事会に引き継ぐこととする。
2. 最終例会の懇親会費については、本年度活動自粛により予算に余裕があるため、無料とする。